



# 2023年3月期 第3四半期決算報告

2023年2月9日

株式会社 

1. 2023年3月期 第3四半期決算報告

2. 2023年3月期 通期見通し

# 2023年3月期 Q3累計：財務ハイライト



単位：億円	22年3月期 Q3累計実績		23年3月期 Q3累計実績		前年比	
					増減額	増減率
売上収益	4,063		<b>4,560</b>		+497	+12.2%
営業利益	469		<b>506</b>		+37	+7.8%
営業利益率	11.6%		<b>11.1%</b>			
税引前利益	525		<b>523</b>		▲2	▲0.5%
税引前利益率	12.9%		<b>11.5%</b>			
当期利益*	390		<b>394</b>		+4	+1.0%
当期利益率	9.6%		<b>8.7%</b>			
FCF	244		<b>▲224</b>		▲468	-
為替：USドル ユーロ	111円		<b>136円</b>		売上収益への影響 +409	
	131円		<b>141円</b>		営業利益への影響 +139	

前年比で売上収益は増加、営業利益は増益、当期利益は微増

\* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

# 2023年3月期 Q3累計：セグメント別業績



単位：億円		22年3月期 Q3累計実績	23年3月期 Q3累計実績	前年比	
				増減額	増減率
映像事業	売上収益	1,360	<b>1,844</b>	+484	+35.6%
	営業利益	188	<b>412</b>	+224	+119.4%
精機事業	売上収益	1,629	<b>1,335</b>	▲294	▲18.1%
	営業利益	334	<b>146</b>	▲188	▲56.3%
ヘルスケア事業	売上収益	532	<b>721</b>	+189	+35.7%
	営業利益	28	<b>72</b>	+44	+157.9%
コンポーネント事業	売上収益	306	<b>381</b>	+75	+24.5%
	営業利益	101	<b>133</b>	+32	+32.1%
産業機器・その他	売上収益	235	<b>278</b>	+43	+18.4%
	営業利益	1	<b>24</b>	+23	+1320.9%
各セグメントに配賦 されない全社損益	営業利益	▲184	<b>▲283</b>	▲99	-
連結	売上収益	4,063	<b>4,560</b>	+497	+12.2%
	営業利益	469	<b>506</b>	+37	+7.8%

映像事業とヘルスケア事業が大幅増益、精機事業は減益

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「各セグメントに配賦されない全社損益」に移管、2022年3月期へ遡及適用

注：「各セグメントに配賦されない全社損益」は「セグメント間取引消去」を含む。セグメント間取引消去額は、22年3月期Q3累計22億円、23年3月期Q3累計▲10億円

# 2023年3月期 Q3 : 映像事業



単位：億円	22年3月期		23年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	468	1,360	699	1,844	+231	+484
営業利益	63	188	190	412	+127	+224
営業利益率	13.3%	13.8%	27.2%	22.4%		
レンズ交換式 デジタルカメラ	16万台	55万台	21万台	58万台	+5万台	+3万台
交換レンズ	36万本	102万本	32万本	93万本	▲4万本	▲9万本
レンズ一体型 デジタルカメラ	4万台	17万台	3万台	10万台	▲1万台	▲7万台

- **Q3累計前年比**：円安効果に加え、プロ・趣味層向け中高級機シフトが進み、平均販売単価が上昇し増収増益。交換レンズも総数は減少したもののフルサイズの高価格帯が堅調で増収増益に貢献。研究開発費等の費用の繰延もあり、計画からも大幅に上振れ

注：レンズ一体型デジタルカメラは、ボディとレンズが一体となり、レンズ交換不可のカメラを指す（ニコンの該当機種：COOLPIX P1000, P950等）

# 2023年3月期 Q3：精機事業



単位：億円	22年3月期		23年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	437	1,629	502	1,335	+65	▲294
営業利益	59	334	84	146	+25	▲188
営業利益率	13.5%	20.5%	16.6%	10.9%		
FPD露光装置	7台	37台	6台	19台	▲1台	▲18台
半導体露光装置 新品／中古	3/5台	9/14台	6/4台	14/12台	+3/▲1台	+5/▲2台

- **Q3累計前年比**： FPD装置事業で前年に比べ販売台数は大きく減少。一方、半導体露光装置では、顧客要請により一部装置の繰延があったものの、前年に比べ販売台数は増加。精機事業全体で減収減益

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「各セグメントに配賦されない全社損益」に移管、2022年3月期へ遡及適用

注：2023年3月期より、半導体露光装置にi線を含む非微細化領域の露光装置を含めて表記（2022年3月期分についても新しい台数の計上基準で表示）

# 2023年3月期 Q3：ヘルスケア事業



単位：億円	22年3月期		23年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	202	532	255	721	+53	+189
営業利益	19	28	36	72	+17	+44
営業利益率	9.3%	5.3%	14.1%	10.1%		

- Q3累計前年比**：北米を中心に生物顕微鏡・網膜画像診断機器が好調に推移したことに加え、円安効果もあり大幅な増収増益。売上収益・営業利益ともに過去最高。営業利益率も10%台に到達

# 2023年3月期 Q3 : コンポーネント事業



単位：億円	22年3月期		23年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	139	306	121	381	▲18	+75
営業利益	67	101	35	133	▲32	+32
営業利益率	48.1%	33.1%	29.8%	35.2%		

- **Q3累計前年比**：EUV関連コンポーネントに加え、半導体関連の光学部品・光学コンポーネントやエンコーダ、FPDフォトマスク基板等も拡大し、増収増益基調が継続。営業利益率も30%台を維持

# 2023年3月期 Q3：産業機器・その他



単位：億円	22年3月期		23年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	89	235	102	278	+13	+43
営業利益	17	1	9	24	▲8	+23
営業利益率	20.3%	0.7%	9.2%	8.9%		

- Q3累計前年比**：産業機器事業では、画像測定システム等の測定機器や工業用顕微鏡の販売が好調。  
 産業機器・その他事業全体で増収増益

1. 2023年3月期 第3四半期決算報告

2. 2023年3月期 通期見通し

## 売上収益

- **全社見通し 6,300億円**（前回予想から150億円下方修正）
  - 精機事業：一部のFPD・半導体露光装置の据付完了の繰延に伴い、200億円下方修正

## 営業利益

- **全社見通し 550億円**（前回予想据え置き）
  - 映像事業：Q3実績を踏まえ、90億円上方修正
  - 精機事業：一部のFPD・半導体露光装置の据付完了の繰延に伴い、60億円下方修正
  - 全社損益：成長投資関連費用等の増加により、20億円下方修正

## 当期利益\*

- **全社見通し 420億円**（前回予想据え置き）

## 株主還元

- **期末配当金20円、年間配当金予想40円**（前回予想据え置き）
- **自己株式の取得（1月末時点）：1,756万株・249億円相当取得済（上限300億円）**

## 為替前提

- **USD 135円、ユーロ 139円**（Q4は、USD 130円、ユーロ 135円）

## トピックス

- **SLM社株式に対する公開買付け完了に伴い、2023年1月に連結子会社化**

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 2023年3月期 通期見通し：財務ハイライト



単位：億円	22年3月期 実績	前回予想 (11/10)	今回予想 (2/9)	前年比	前回予想比
売上収益	5,396	6,450	<b>6,300</b>	+904	▲150
営業利益	499	550	<b>550</b>	+51	±0
営業利益率	9.3%	8.5%	<b>8.7%</b>		
税引前利益	570	570	<b>570</b>	±0	±0
税引前利益率	10.6%	8.8%	<b>9.0%</b>		
当期利益*	426	420	<b>420</b>	▲6	±0
当期利益率	7.9%	6.5%	<b>6.7%</b>		
EPS	116.23円	115.63円	<b>116.71円</b>	+0.48円	+1.08円
年間配当	40円	40円	<b>40円</b>	±0円	±0円
ROE	7.5%	6.9%	<b>7.0%</b>	▲0.5P	+0.1P
為替：USドル	112円	135円	<b>135円</b>	売上収益への予想影響	
				+484	+20
ユーロ	131円	137円	<b>139円</b>	営業利益への予想影響	
				+149	+40

注：EPS（基本的1株当たり当期利益）＝当期利益÷期中平均株式数  
 （2022年3月期実績は約3.67億株で計算、前回2023年3月期予想は約3.63億株、今回2023年3月期予想は約3.60億株で計算）

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 2023年3月期 通期見通し：セグメント別見通し

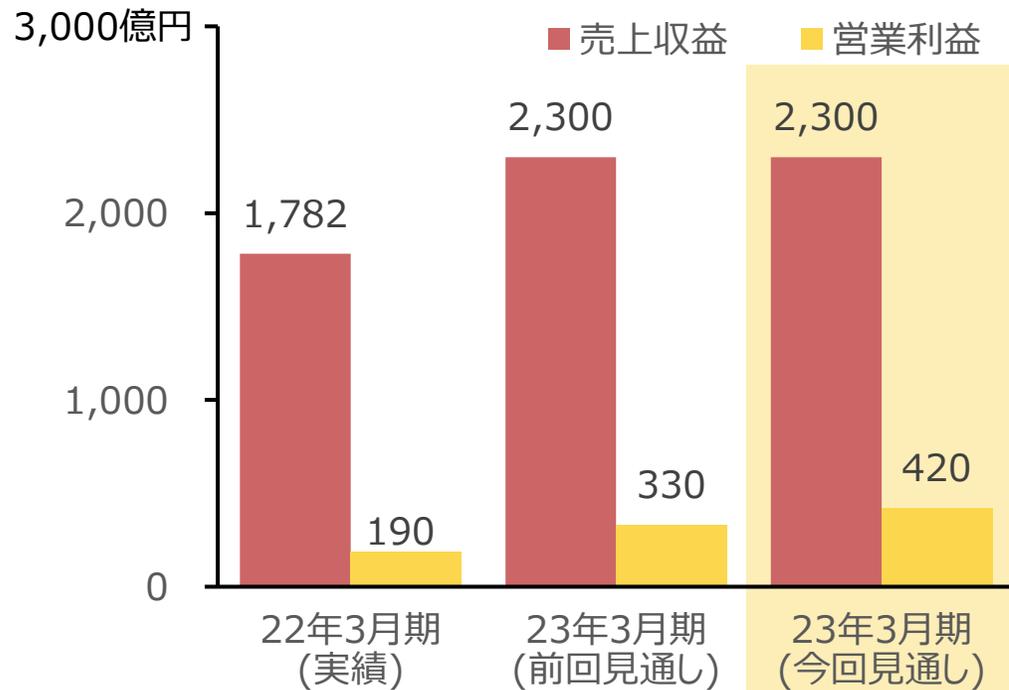


単位：億円		22年3月期実績	前回予想（11/10）	今回予想（2/9）	前年比	前回予想比
映像事業	売上収益	1,782	2,300	<b>2,300</b>	+518	±0
	営業利益	190	330	<b>420</b>	+230	+90
	営業利益率	10.7%	14.3%	<b>18.3%</b>	+7.6P	+4.0P
精機事業	売上収益	2,112	2,300	<b>2,100</b>	▲12	▲200
	営業利益	394	300	<b>240</b>	▲154	▲60
	営業利益率	18.7%	13.0%	<b>11.4%</b>	▲7.3P	▲1.6P
ヘルスケア事業	売上収益	732	930	<b>930</b>	+198	±0
	営業利益	43	80	<b>80</b>	+37	±0
	営業利益率	6.0%	8.6%	<b>8.6%</b>	+2.6P	±0.0P
コンポーネント事業	売上収益	408	530	<b>530</b>	+122	±0
	営業利益	127	180	<b>180</b>	+53	±0
	営業利益率	31.1%	34.0%	<b>34.0%</b>	+2.9P	±0.0P
産業機器・その他	売上収益	360	390	<b>440</b>	+80	+50
	営業利益	29	45	<b>35</b>	+6	▲10
	営業利益率	8.2%	11.5%	<b>8.0%</b>	▲0.2P	▲3.5P
各セグメントに配賦 されない全社損益	営業利益	▲286	▲385	<b>▲405</b>	▲119	▲20
連結	売上収益	5,396	6,450	<b>6,300</b>	+904	▲150
	営業利益	499	550	<b>550</b>	+51	±0
	営業利益率	9.3%	8.5%	<b>8.7%</b>	▲0.6P	+0.2P

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「各セグメントに配賦されない全社損益」に移管、2022年3月期へ遡及適用

注：「各セグメントに配賦されない全社損益」は「セグメント間取引消去」を含む

# 2023年3月期 通期見通し：映像事業



## レンズ交換式デジタルカメラ (万台)

市場規模	512	540	580
ニコン	70	70	70

## 交換レンズ (万本)

市場規模	939	980	980
ニコン	127	125	115

## レンズ一体型デジタルカメラ (万台)

市場規模	272	200	200
ニコン	19	10	10

### ● 売上収益：前年比 518億円増収 (前回予想据え置き)

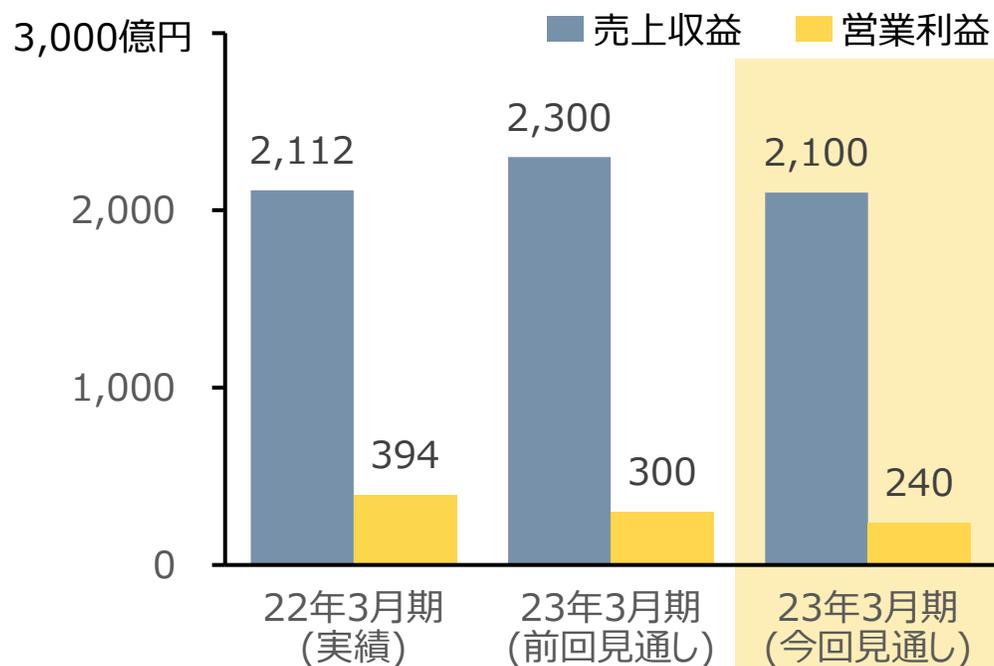
- 部品調達制約が解消に向かい、市場規模は拡大
- 当社は収益性を重視し、プロ・趣味層をターゲットとした中高級機カメラへの注力を継続
- ミラーレスカメラを中心に売上拡大。交換レンズ全体の販売予定本数は、廉価な単焦点レンズを中心に減少も、単価の高い交換レンズの販売本数は増加し、売上は増加。前年比増収を見込む

### ● 営業利益：前年比 230億円増益 (前回比90億円上方修正)

- 中高級機カメラの販売増、平均販売単価の上昇に加え、円安効果により、前年比増益を見込む
- Q3実績を踏まえ、通期予想を前回予想比90億円引き上げ

注：レンズ一体型デジタルカメラは、ボディとレンズが一体となり、レンズ交換不可のカメラを指す (ニコンの該当機種：COOLPIX P1000, P950等)

# 2023年3月期 通期見通し：精機事業



FPD露光装置販売台数 (台)			
市場規模 (CY21/22)	116	80	79
ニコン	46	30	29
半導体露光装置販売台数 (新品/中古、台)			
市場規模 (CY21/22)	390	460	480
ニコン	17/18	37/20	28/18

## ● 売上収益：前年比12億円減収（前回比200億円下方修正）

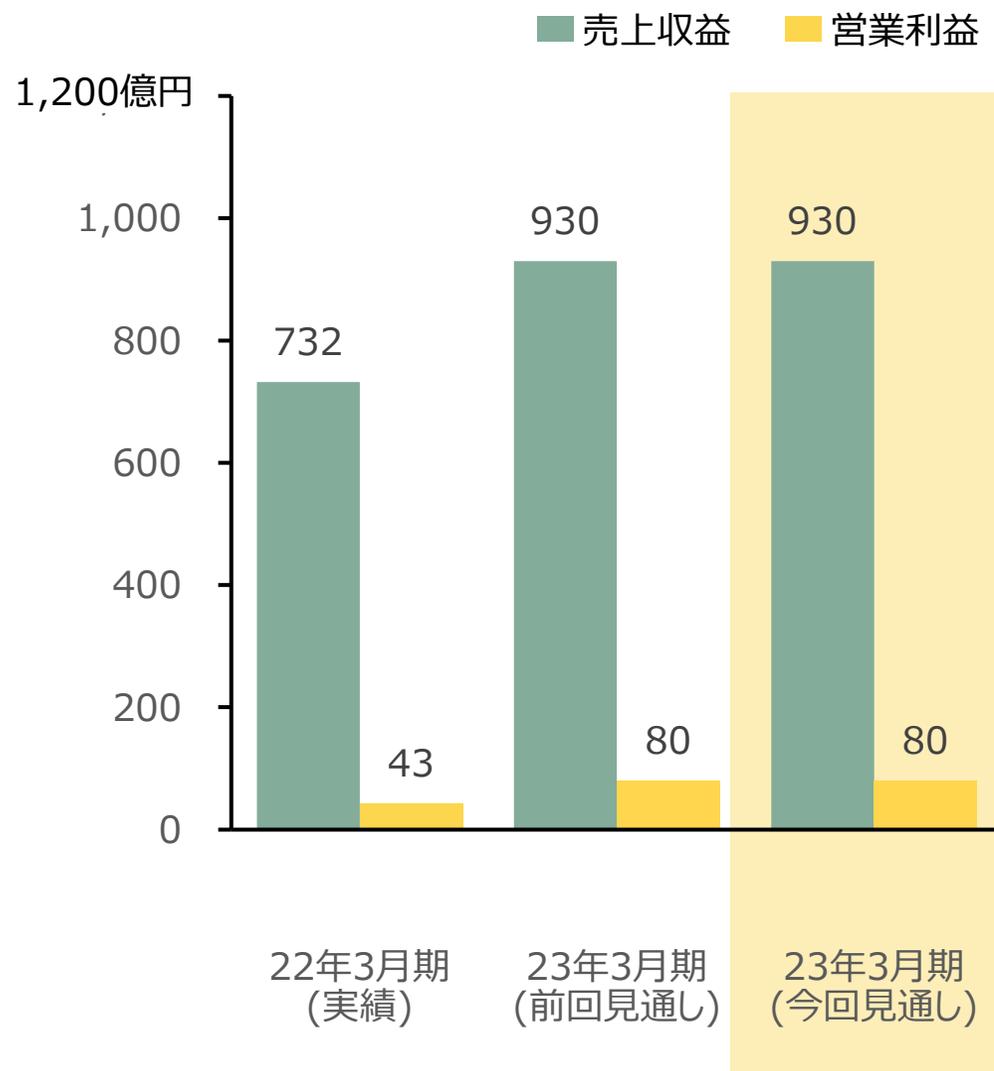
- FPD露光装置はパネル価格下落に伴う顧客の設備投資見直しで市場が縮小したことにより、前年比で販売台数の減少を見込む。前回予想比では一部装置の来期への繰延もあり下振れ
- 半導体露光装置は堅調な需要からArF露光装置を中心に前年比増収。前回予想比では一部装置の来期への繰延があり下振れ
- 精機事業全体では、通期予想を200億円引き下げ

## ● 営業利益：前年比154億円減益（前回比60億円下方修正）

- 半導体露光装置は販売台数増となるも、FPD露光装置の販売台数減により、精機事業全体では前年比減益を見込む
- 前回予想比では、一部のFPD・半導体露光装置の据付完了の来期への繰延に伴い、通期予想を60億円引き下げ

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「各セグメントに配賦されない全社損益」に移管、2022年3月期へ遡及適用

注：2023年3月期より、半導体露光装置の市場全体及びニコン販売分の双方に、i線を含む非微細化領域の露光装置を含めて表記（2022年3月期分についても新しい台数の計上基準で表示）



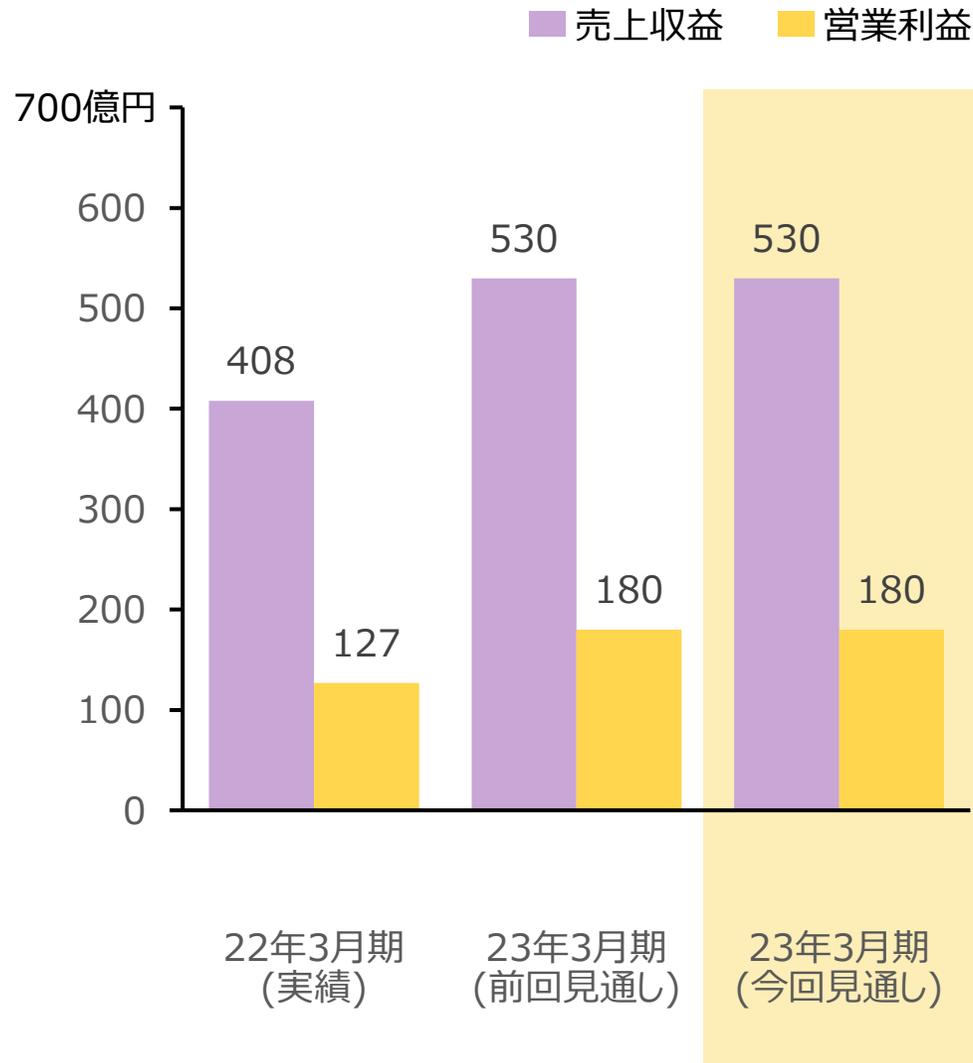
## ● 売上収益：前年比198億円増収（前回予想据え置き）

- 今期も過去最高の売上を更新する見込み
- 生物顕微鏡は、北米を中心に、中国、その他地域において新製品の拡販および民間市場の開拓による増収を見込む
- 網膜画像診断機器は北米のほか、欧州・アジアでの売上増加を目指す
- 生物顕微鏡、網膜画像診断機器共に半導体部品・物流の逼迫は解消傾向にあるが影響は継続、引き続き安定供給に努める

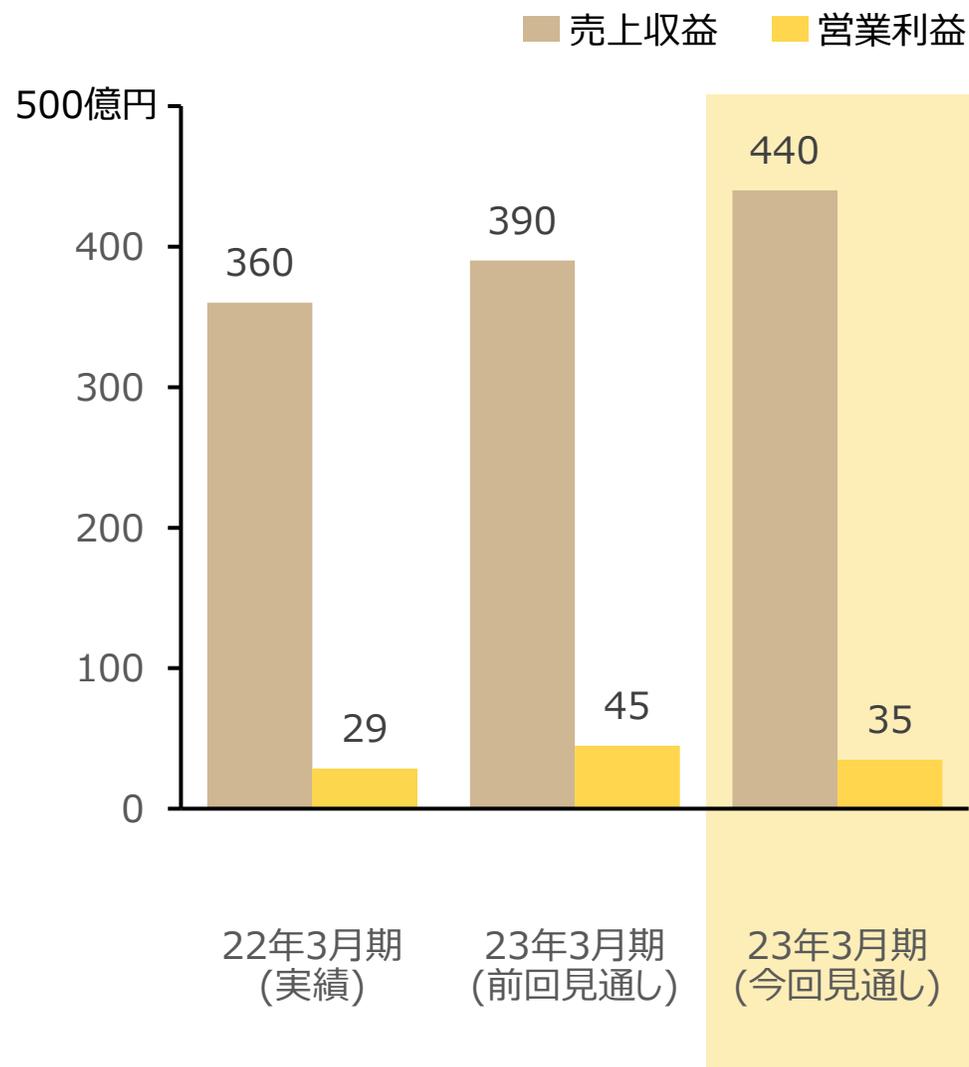
## ● 営業利益：前年比37億円増益（前回予想据え置き）

- 生物顕微鏡・網膜画像診断機器の増収効果等により、前年比で増益を見込む

# 2023年3月期 通期見通し：コンポーネント事業



- **売上収益：前年比122億円増収**（前回予想据え置き）
  - EUV関連コンポーネント、半導体関連製品の光学部品・光学コンポーネントやFPDフォトマスク基板等が売上拡大に寄与
- **営業利益：前年比53億円増益**（前回予想据え置き）
  - 売上拡大に伴う増収効果により、前年比で増益を見込む



## ● 売上収益：前年比80億円増収（前回比50億円上方修正）

- 産業機器事業では、画像測定システムやX線検査装置等の堅調な販売を見込む
- 「その他」には公開買付を完了したSLM社を含む

## ● 営業利益：前年比6億円増益（前回比10億円下方修正）

- 「その他」に含まれる国内生産子会社は増益
- 産業機器事業では、新製品の研究開発や販売体制強化のため、費用増加を見込む

# 参考資料

# サステナブルな社会の実現に貢献 – 高い外部評価



2022年12月14日 PRESS RELEASE



- 非営利団体CDP：企業の環境情報開示におけるグローバルスタンダードとして広く認知
- 気候変動調査にて「Aリスト」に2019年度から4年連続で選定

2022年12月13日 PRESS RELEASE

Member of

**Dow Jones Sustainability Indices**

- DJSI:世界的なESG投資指標のひとつ

Powered by the S&P Global CSA

- 「DJSI World」および「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄に5年連続で選定
- ニコンが属する産業グループ\*において、**世界でトップのスコア**

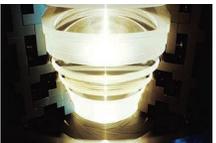
\*S&P Globalが定義した産業グループ LEG Leisure Equipment & Products and Consumer Electronics

CDP 気候変動 (英国)	Dow Jones Sustainability Indices (DJSI) (スイス・米国) World	Sustainalytics (オランダ) ESGリスク評価 (20.0以下 リスク低)	MSCI ESG Ratings (米国)	GPIFによるESG投資				
				FTSE Blossom Japan Index	FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	MSCIジャパン ESG セレクト・ リーダーズ指数	MSCI 日本株女性 活躍指数 (WIN)	S&P/JPX カーボン・エフィ シエント指数
A	採用	15.6	AA	採用	採用	採用	採用	採用

社会の期待に「信頼」で応える + 「創造」を通じて社会に貢献する

ニコンの企業理念 「信頼と創造」

# ニコンの事業セグメントと主な製品

事業セグメント	主な事業、製品	製品例			
映像事業	レンズ交換式デジタルカメラ 交換レンズ レンズ一体型デジタルカメラ	 ミラーレスカメラ「Z 9」	 ミラーレスカメラ「Z 30」	 「NIKKOR」レンズ	 「NIKKOR Z 400mm f/4.5 VR S」
精機事業	FPD露光装置 半導体露光装置 アライメントステーション 計測・検査装置	 FPDスキャナー「FX-88S」	 ArF液浸スキャナー「NSR-S635E」	 アライメントステーション「Litho Booster」	 自動マクロ検査装置「AMI-5700」
ヘルスケア事業	生物顕微鏡 網膜画像診断機器 細胞受託生産	 共焦点レーザー顕微鏡システム「AX/AX R」	 SS-OCT付き超広角走査型レーザー検眼鏡「Silverstone」	 細胞受託生産	
コンポーネント事業	EUV関連コンポーネント 光学部品、光学コンポーネント エンコーダ・アクチュエータ FPDフォトマスク基板 光加工機・材料加工受託	 光学コンポーネント	 インテリジェントアクチュエータユニット「C3 eMotion」	 FPDフォトマスク基板	 光加工機「Lasermeister 102A」
産業機器・その他	測定機 X線検査装置 工業用顕微鏡	 画像測定システム「NEXIV VMZ-S」シリーズ	 X線/CT検査装置「XT H 225 ST 2x」	 レーザレーダ「APDIS」シリーズ	

# 2023年3月期 Q3：財務ハイライト



単位：億円	22年3月期 Q3実績	23年3月期 Q3実績	前年比	
売上収益	1,333	<b>1,677</b>	+344	+25.9%
営業利益	148	<b>262</b>	+114	+76.5%
営業利益率	11.1%	<b>15.6%</b>		
税引前利益	166	<b>263</b>	+97	+57.9%
税引前利益率	12.5%	<b>15.7%</b>		
当期利益*	126	<b>206</b>	+80	+63.2%
当期利益率	9.5%	<b>12.3%</b>		
FCF	36	<b>▲34</b>	▲70	-
為替：USドル	114円	<b>141円</b>	売上収益への影響 +151	
ユーロ	130円	<b>144円</b>	営業利益への影響 +82	
前年比で増収増益				

\* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

# 2023年3月期 Q3 : セグメント別業績



単位：億円		22年3月期Q3実績	23年3月期Q3実績	前年比	
映像事業	売上収益	468	<b>699</b>	+231	+49.4%
	営業利益	63	<b>190</b>	+127	+204.7%
精機事業	売上収益	437	<b>502</b>	+65	+14.8%
	営業利益	59	<b>84</b>	+25	+40.7%
ヘルスケア事業	売上収益	202	<b>255</b>	+53	+26.6%
	営業利益	19	<b>36</b>	+17	+91.2%
コンポーネント事業	売上収益	139	<b>121</b>	▲18	▲13.0%
	営業利益	67	<b>35</b>	▲32	▲46.1%
産業機器・その他	売上収益	89	<b>102</b>	+13	+15.1%
	営業利益	17	<b>9</b>	▲8	▲48.1%
各セグメントに配賦 されない全社損益	営業利益	▲77	<b>▲92</b>	▲15	-
連結	売上収益	1,333	<b>1,677</b>	+344	+25.9%
	営業利益	148	<b>262</b>	+114	+76.5%

各セグメントに配賦されない全社損益は、SLM社買収関連費用の計上や研究開発費の増加等により減少

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「各セグメントに配賦されない全社損益」に移管、2022年3月期へ遡及適用

注：「各セグメントに配賦されない全社損益」は「セグメント間取引消去」を含む。セグメント間取引消去額は、22年3月期Q3 2億円、23年3月期Q3 3億円

# 2023年3月期 通期見通し：財務ハイライト



単位：億円	20年3月期	21年3月期	22年3月期			23年3月期 見通し		
	通期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	5,910	4,512	2,730	2,666	5,396	<b>2,883</b>	<b>3,417</b>	<b>6,300</b>
営業利益	67	▲562	321	178	499	<b>244</b>	<b>306</b>	<b>550</b>
営業利益率	1.1%	▲12.5%	11.8%	6.7%	9.3%	<b>8.5%</b>	<b>9.0%</b>	<b>8.7%</b>
税引前利益	118	▲453	359	211	570	<b>260</b>	<b>310</b>	<b>570</b>
税引前利益率	2.0%	▲10.0%	13.2%	7.9%	10.6%	<b>9.0%</b>	<b>9.1%</b>	<b>9.0%</b>
当期利益*	76	▲344	264	162	426	<b>188</b>	<b>232</b>	<b>420</b>
当期利益率	1.3%	▲7.6%	9.7%	6.1%	7.9%	<b>6.5%</b>	<b>6.8%</b>	<b>6.7%</b>
EPS	19.93円	▲93.96円	116.23円			<b>116.71円</b>		
年間配当	40円	20円	40円			<b>40円</b>		
ROE	1.3%	▲6.4%	7.5%			<b>7.0%</b>		
FCF	▲48	229	309			-		
為替：USドル	109円	106円	110円	115円	112円	<b>134円</b>	<b>136円</b>	<b>135円</b>
ユーロ	121円	124円	131円	130円	131円	<b>139円</b>	<b>140円</b>	<b>139円</b>

\* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

# 2023年3月期 通期見通し：財務ハイライト（前回予想との差異）



単位：億円	前回予想（11/10）			今回予想(2/9)			前回予想比		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	2,883	3,567	6,450	<b>2,883</b>	<b>3,417</b>	<b>6,300</b>	±0	▲150	▲150
営業利益	244	306	550	<b>244</b>	<b>306</b>	<b>550</b>	±0	±0	±0
営業利益率	8.5%	8.6%	8.5%	<b>8.5%</b>	<b>9.0%</b>	<b>8.7%</b>			
税引前利益	260	310	570	<b>260</b>	<b>310</b>	<b>570</b>	±0	±0	±0
税引前利益率	9.0%	8.7%	8.8%	<b>9.0%</b>	<b>9.1%</b>	<b>9.0%</b>			
当期利益*	188	232	420	<b>188</b>	<b>232</b>	<b>420</b>	±0	±0	±0
当期利益率	6.5%	6.5%	6.5%	<b>6.5%</b>	<b>6.8%</b>	<b>6.7%</b>			
EPS	115.63円			<b>116.71円</b>			+1.08円		
年間配当	40円			<b>40円</b>			±0円		
ROE	6.9%			<b>7.0%</b>			+0.1P		
為替：USDドル	134円	135円	135円	<b>134円</b>	<b>136円</b>	<b>135円</b>	±0円	+1円	±0円
ユーロ	139円	135円	137円	<b>139円</b>	<b>140円</b>	<b>139円</b>	±0円	+5円	+2円

\* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

# 2023年3月期 通期見通し：セグメント別見通し



単位：億円		22年3月期			23年3月期 見通し		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期
映像事業	売上収益	892	890	1,782	<b>1,145</b>	<b>1,155</b>	<b>2,300</b>
	営業利益	125	65	190	<b>222</b>	<b>198</b>	<b>420</b>
精機事業	売上収益	1,192	920	2,112	<b>833</b>	<b>1,267</b>	<b>2,100</b>
	営業利益	275	119	394	<b>62</b>	<b>178</b>	<b>240</b>
ヘルスケア事業	売上収益	330	402	732	<b>466</b>	<b>464</b>	<b>930</b>
	営業利益	9	34	43	<b>36</b>	<b>44</b>	<b>80</b>
コンポーネント事業	売上収益	167	241	408	<b>260</b>	<b>270</b>	<b>530</b>
	営業利益	34	93	127	<b>98</b>	<b>82</b>	<b>180</b>
産業機器・その他	売上収益	146	214	360	<b>176</b>	<b>264</b>	<b>440</b>
	営業利益	▲16	45	29	<b>15</b>	<b>20</b>	<b>35</b>
各セグメントに 配賦されない全社損益	営業利益	▲107	▲179	▲286	<b>▲191</b>	<b>▲214</b>	<b>▲405</b>
	内、成長投資関連費用	▲104	▲114	▲218	<b>▲108</b>	<b>▲122</b>	<b>▲230</b>
	内、本社管理部門費用	▲22	▲58	▲80	<b>▲70</b>	<b>▲85</b>	<b>▲155</b>
連結	売上収益	2,730	2,666	5,396	<b>2,883</b>	<b>3,417</b>	<b>6,300</b>
	営業利益	321	178	499	<b>244</b>	<b>306</b>	<b>550</b>

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「各セグメントに配賦されない全社損益（成長投資関連費用）」に移管、2022年3月期へ遡及適用

注：「成長投資関連費用」は、主に基礎研究に係る費用、新規事業創設に係る費用、ものづくり革新に関連する費用。「本社管理部門費用」は、本社機能の一般管理費、各セグメントに配賦されないその他営業損益

注：「各セグメントに配賦されない全社損益」は「セグメント間取引消去」を含む

# 2023年3月期 通期見通し：セグメント別見通し（前回予想との差異）



単位：億円		前回予想（11/10）			今回予想(2/9)			前回予想比		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
映像事業	売上収益	1,145	1,155	2,300	<b>1,145</b>	<b>1,155</b>	<b>2,300</b>	±0	±0	±0
	営業利益	222	108	330	<b>222</b>	<b>198</b>	<b>420</b>	±0	+90	+90
精機事業	売上収益	833	1,467	2,300	<b>833</b>	<b>1,267</b>	<b>2,100</b>	±0	▲200	▲200
	営業利益	62	238	300	<b>62</b>	<b>178</b>	<b>240</b>	±0	▲60	▲60
ヘルスケア事業	売上収益	466	464	930	<b>466</b>	<b>464</b>	<b>930</b>	±0	±0	±0
	営業利益	36	44	80	<b>36</b>	<b>44</b>	<b>80</b>	±0	±0	±0
コンポーネント事業	売上収益	260	270	530	<b>260</b>	<b>270</b>	<b>530</b>	±0	±0	±0
	営業利益	98	82	180	<b>98</b>	<b>82</b>	<b>180</b>	±0	±0	±0
産業機器・その他	売上収益	176	214	390	<b>176</b>	<b>264</b>	<b>440</b>	±0	+50	+50
	営業利益	15	30	45	<b>15</b>	<b>20</b>	<b>35</b>	±0	▲10	▲10
各セグメントに配賦されない全社損益	営業利益	▲191	▲194	▲385	<b>▲191</b>	<b>▲214</b>	<b>▲405</b>	±0	▲20	▲20
連結	売上収益	2,883	3,567	6,450	<b>2,883</b>	<b>3,417</b>	<b>6,300</b>	±0	▲150	▲150
	営業利益	244	306	550	<b>244</b>	<b>306</b>	<b>550</b>	±0	±0	±0

注：「各セグメントに配賦されない全社損益」は「セグメント間取引消去」を含む

# 2023年3月期 Q3：セグメント別四半期業績



単位：億円		22年3月期				23年3月期		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
映像事業	売上収益	500	392	468	422	612	533	<b>699</b>
	営業利益	92	33	63	2	136	86	<b>190</b>
精機事業	売上収益	518	674	437	483	414	419	<b>502</b>
	営業利益	134	141	59	60	40	22	<b>84</b>
ヘルスケア事業	売上収益	158	172	202	200	217	249	<b>255</b>
	営業利益	4	5	19	15	8	28	<b>36</b>
コンポーネント事業	売上収益	77	90	139	102	129	131	<b>121</b>
	営業利益	21	13	67	26	54	44	<b>35</b>
産業機器・その他	売上収益	67	79	89	125	81	95	<b>102</b>
	営業利益	▲10	▲6	17	28	6	9	<b>9</b>
各セグメントに 配賦されない全社損益	営業利益	▲43	▲64	▲77	▲102	▲92	▲99	<b>▲92</b>
	内、成長投資関連費用	▲50	▲54	▲53	▲61	▲53	▲54	<b>▲60</b>
	内、本社管理部門費用	1	▲23	▲27	▲31	▲27	▲42	<b>▲35</b>
連結	売上収益	1,322	1,408	1,333	1,333	1,456	1,427	<b>1,677</b>
	営業利益	199	122	148	30	153	91	<b>262</b>

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「各セグメントに配賦されない全社損益（成長投資関連費用）」に移管、2022年3月期へ遡及適用

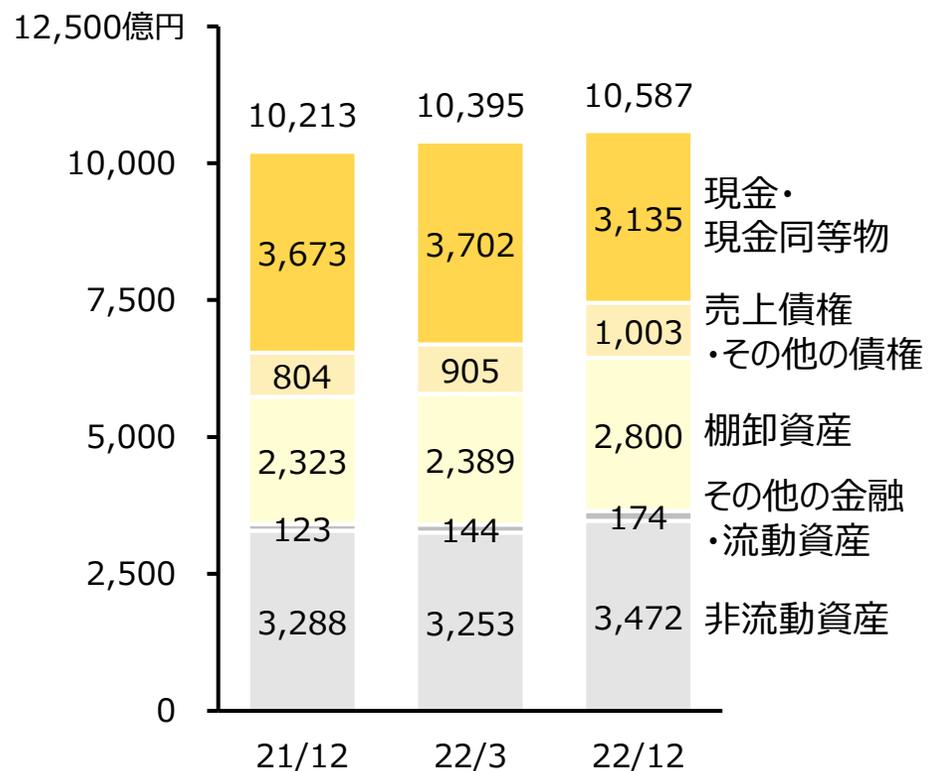
注：「成長投資関連費用」は、主に基礎研究に係る費用、新規事業創設に係る費用、ものづくり革新に関連する費用。「本社管理部門費用」は、本社機能の一般管理費、各セグメントに配賦されないその他営業損益

注：「各セグメントに配賦されない全社損益」は「セグメント間取引消去」を含む

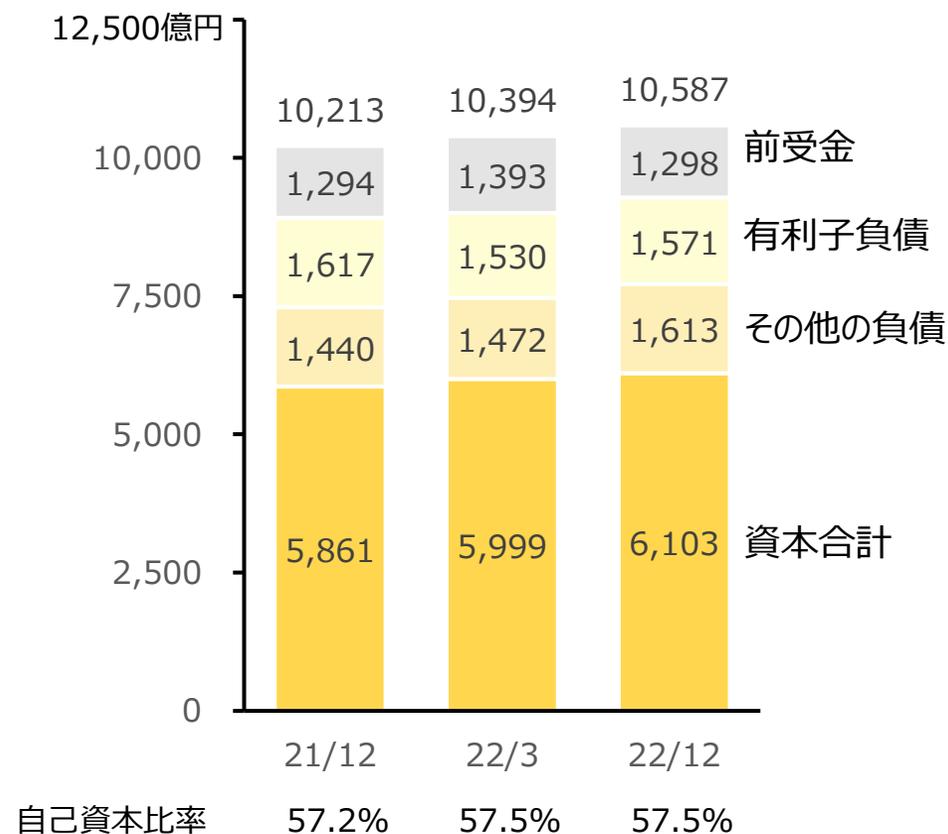
# 2023年3月期 Q3：財政状態計算書



## 資産

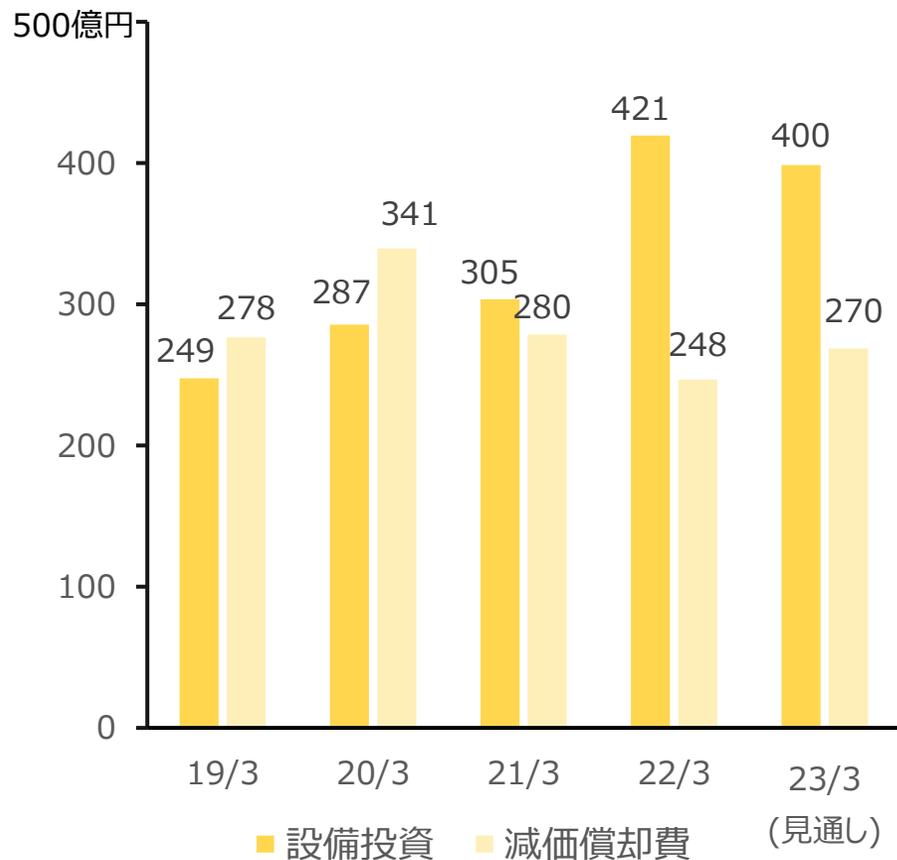


## 負債・資本

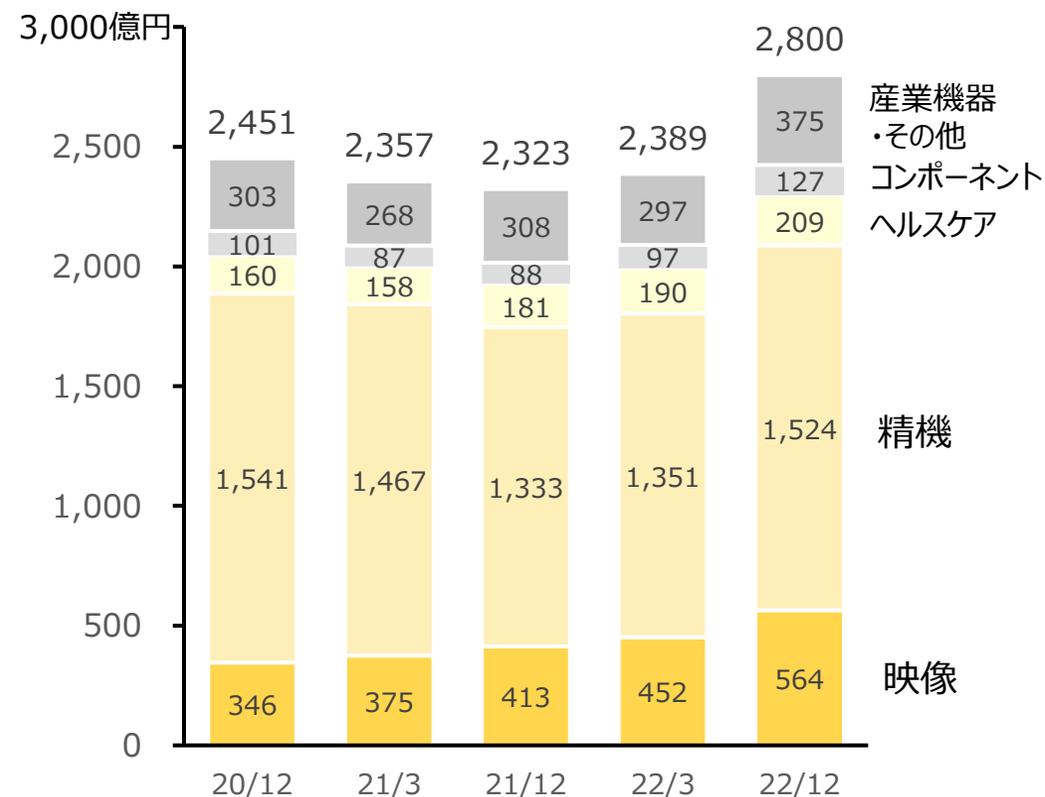


注：自己資本比率 = 親会社所有者帰属持分比率。現金・現金同等物には3ヶ月超の定期預金残高を含めず表示

## 設備投資・減価償却費



## 棚卸資産

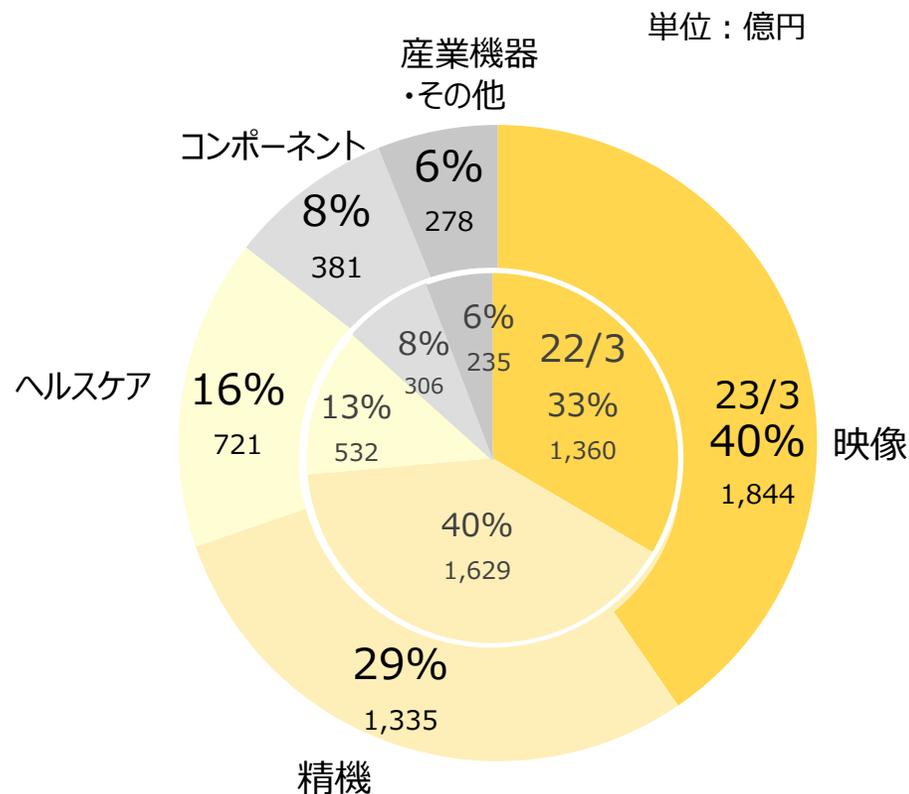


注: 「設備投資」 2020年3月期以降はIFRS第16号適用により使用権資産を含めて表示

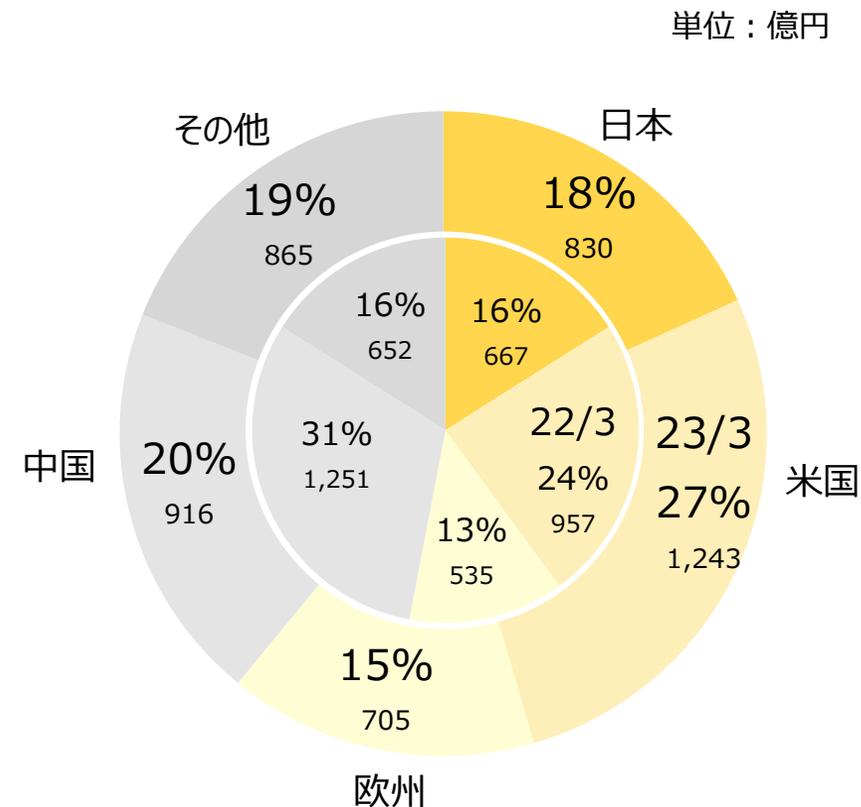
# 2023年3月期 Q3累計：売上収益内訳



## セグメント別内訳

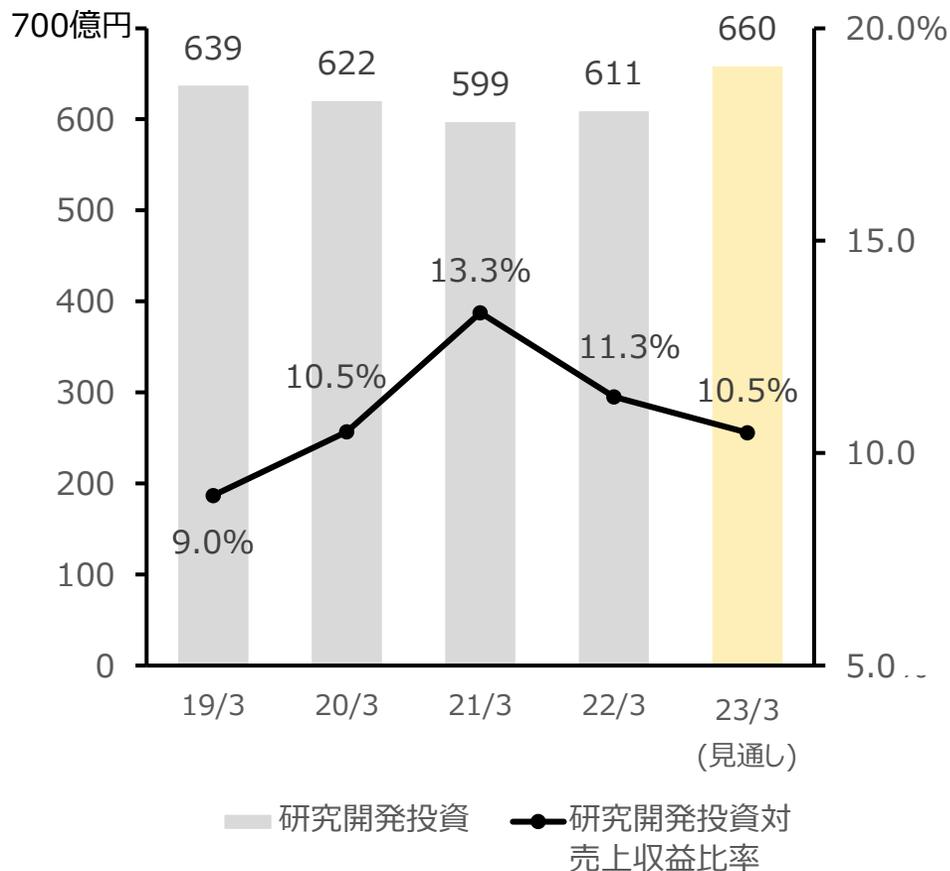


## 地域別内訳

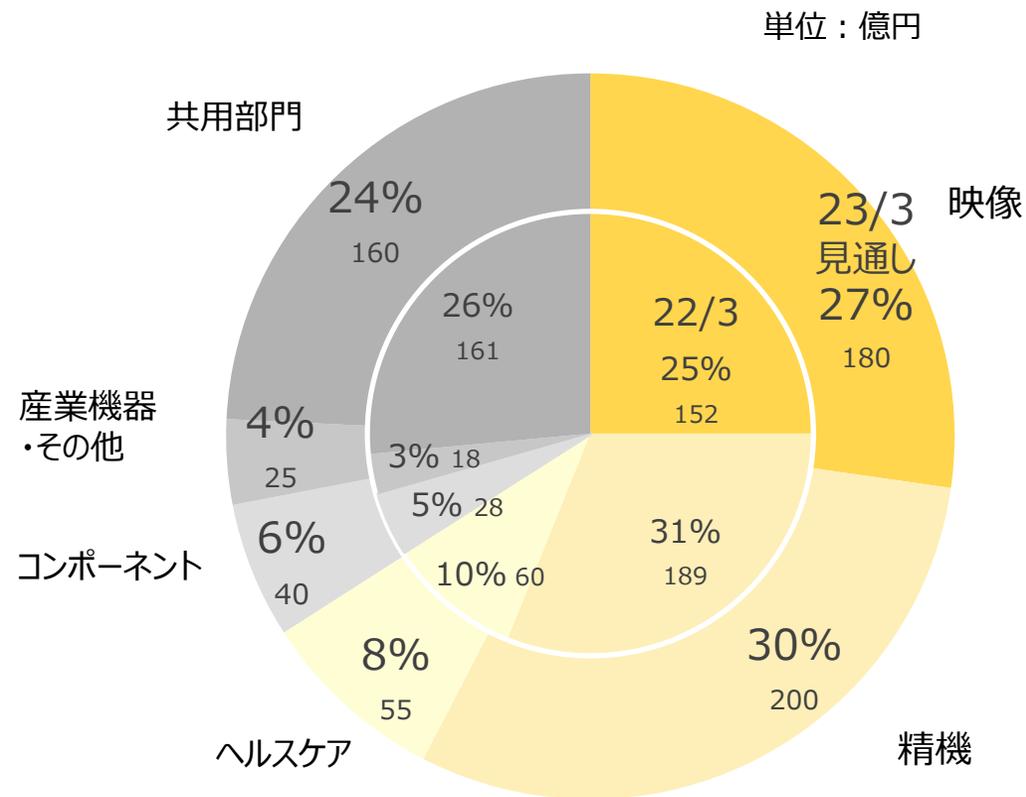


注：外円は「2023年3月期 Q3累計 売上収益4,560億円」の内訳、内円は「2022年3月期 Q3累計 売上収益4,063億円」の内訳を表示

## 研究開発投資



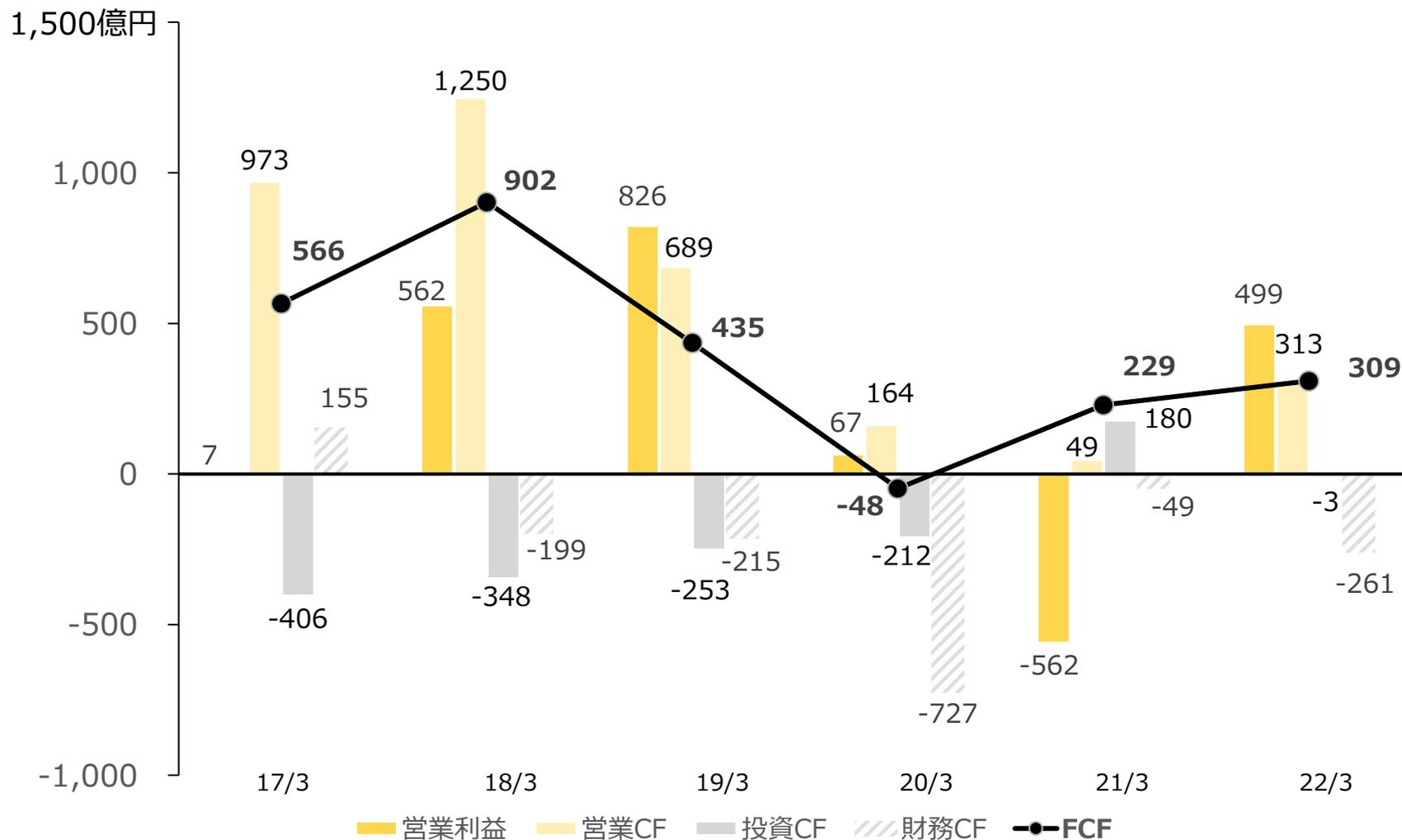
## 研究開発投資内訳



注：「研究開発投資」には、資産化された開発投資を含めて表示

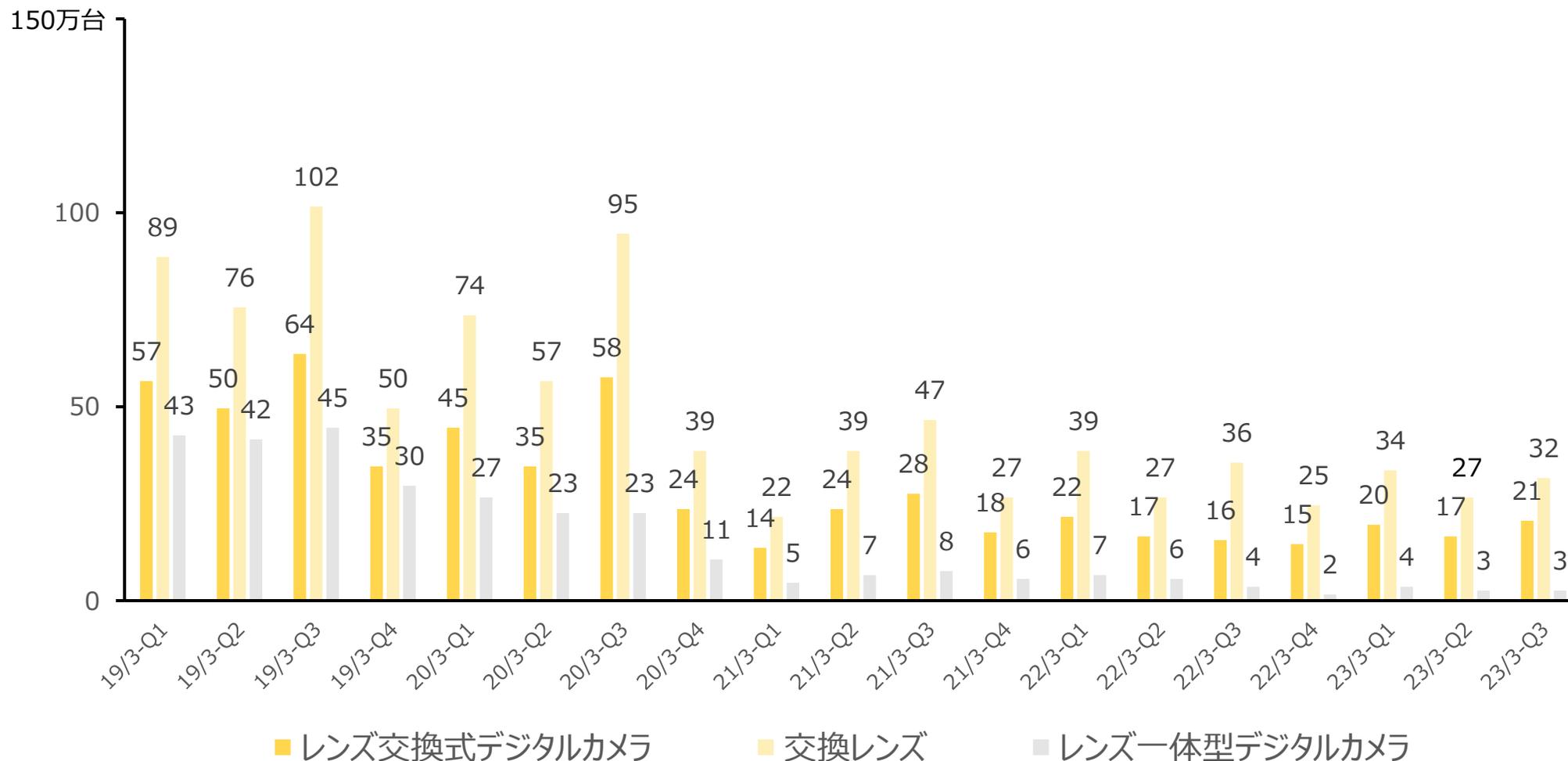
注：「研究開発投資内訳」は、2023年3月期からのセグメント変更に伴い、2022年3月期の財務数値を変更後の表示に合わせ、組み替えて表示

# キャッシュフロー推移



注: FCF + 財務CF + 現金・現金同等物に係る換算差額 = 現金・現預金同等物期末残高増減

## 製品カテゴリー別内訳

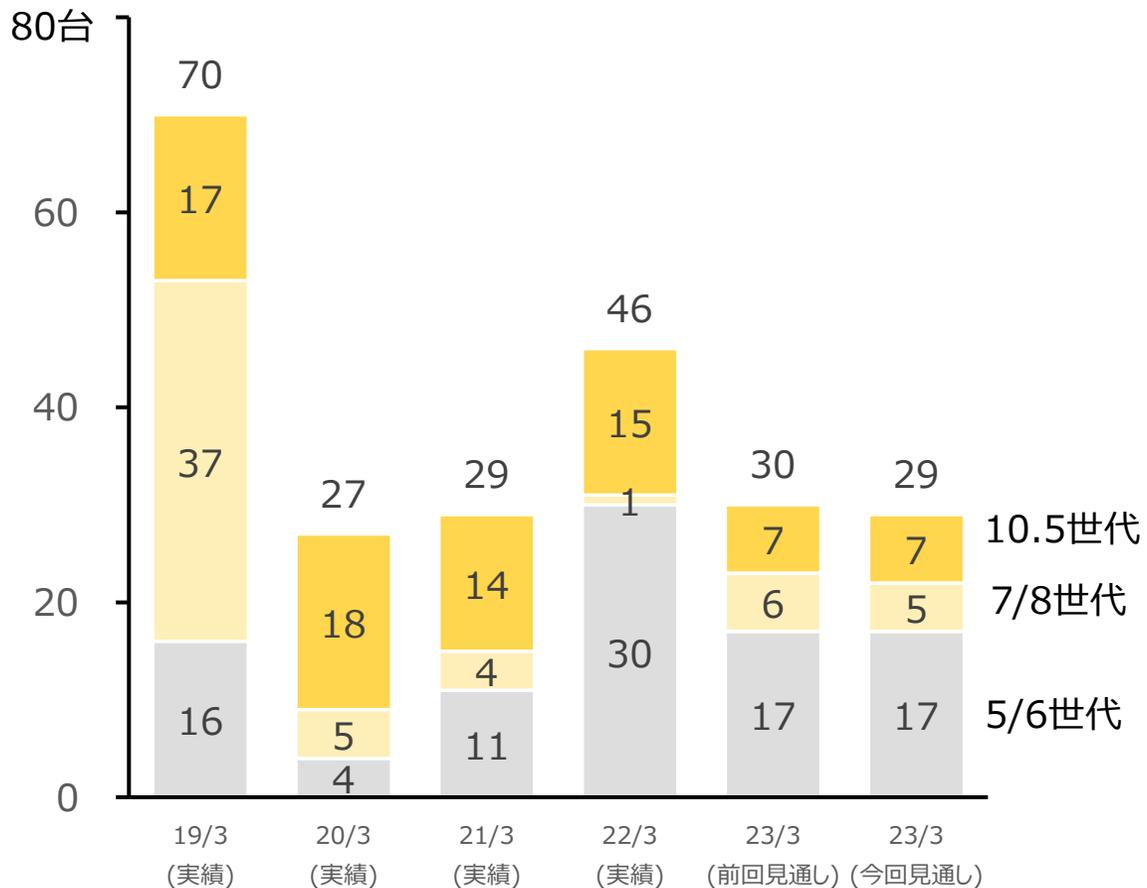


注: レンズ一体型デジタルカメラは、ボディとレンズが一体となり、レンズ交換不可のカメラを指す（ニコンの該当機種：COOLPIX P1000, P950等）

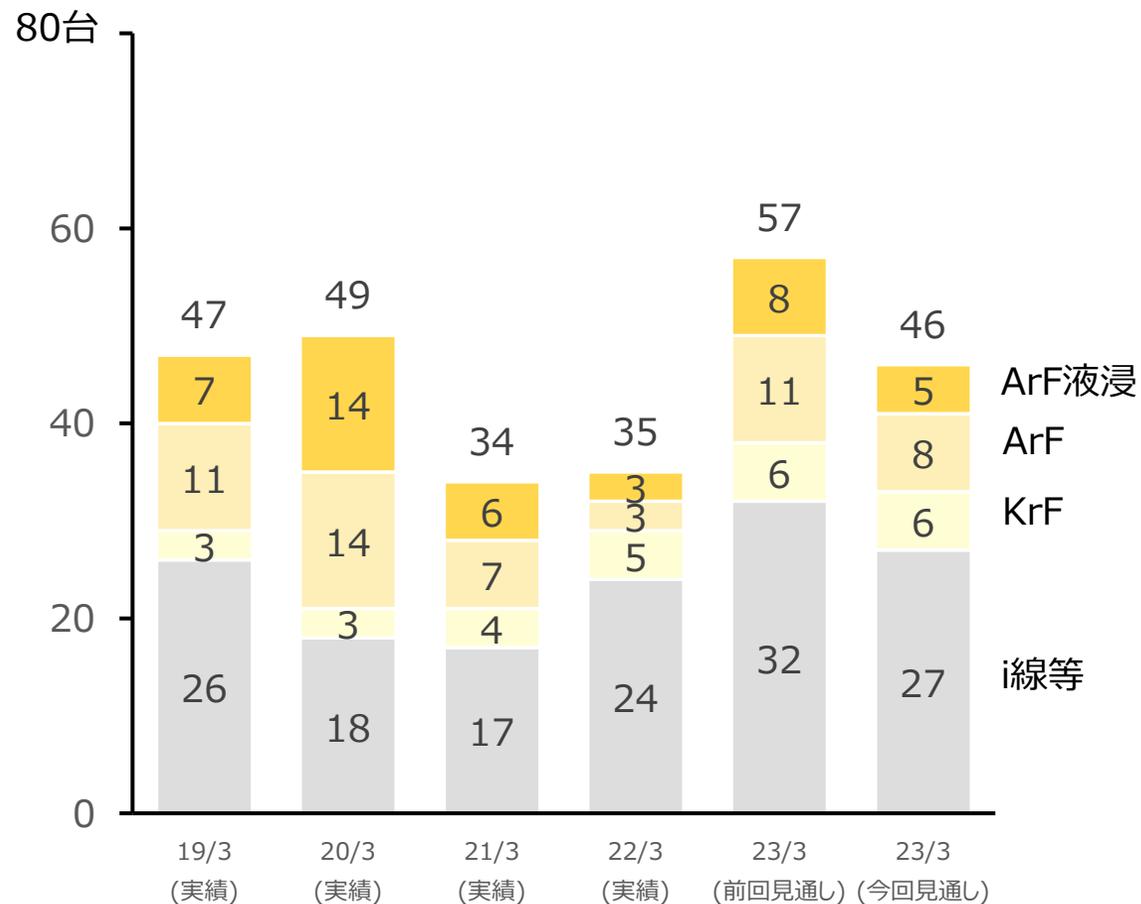
# 2023年3月期 通期見通し：精機事業 販売台数



## FPD露光装置世代別内訳

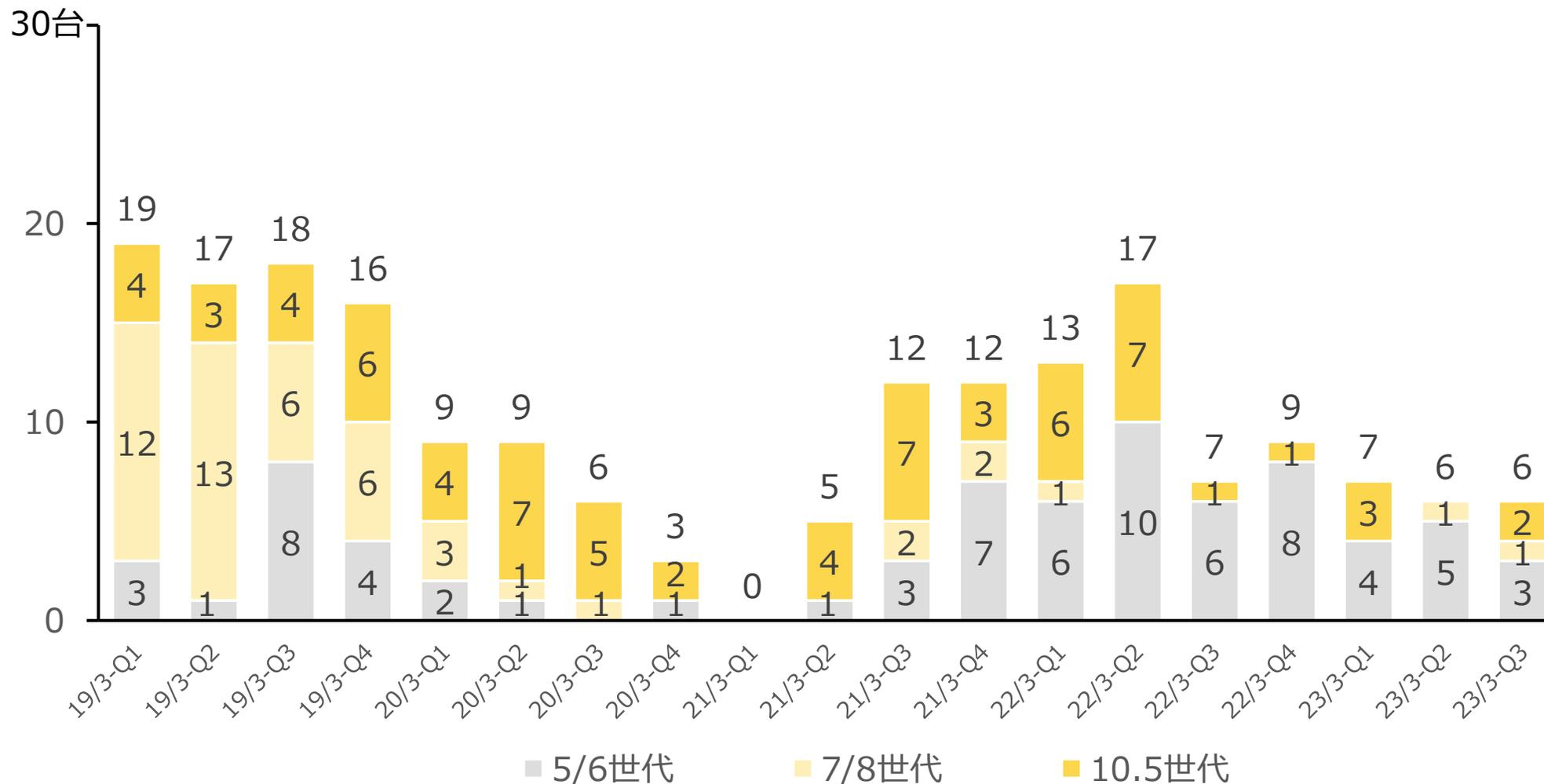


## 半導体露光装置光源別内訳 (中古含む)

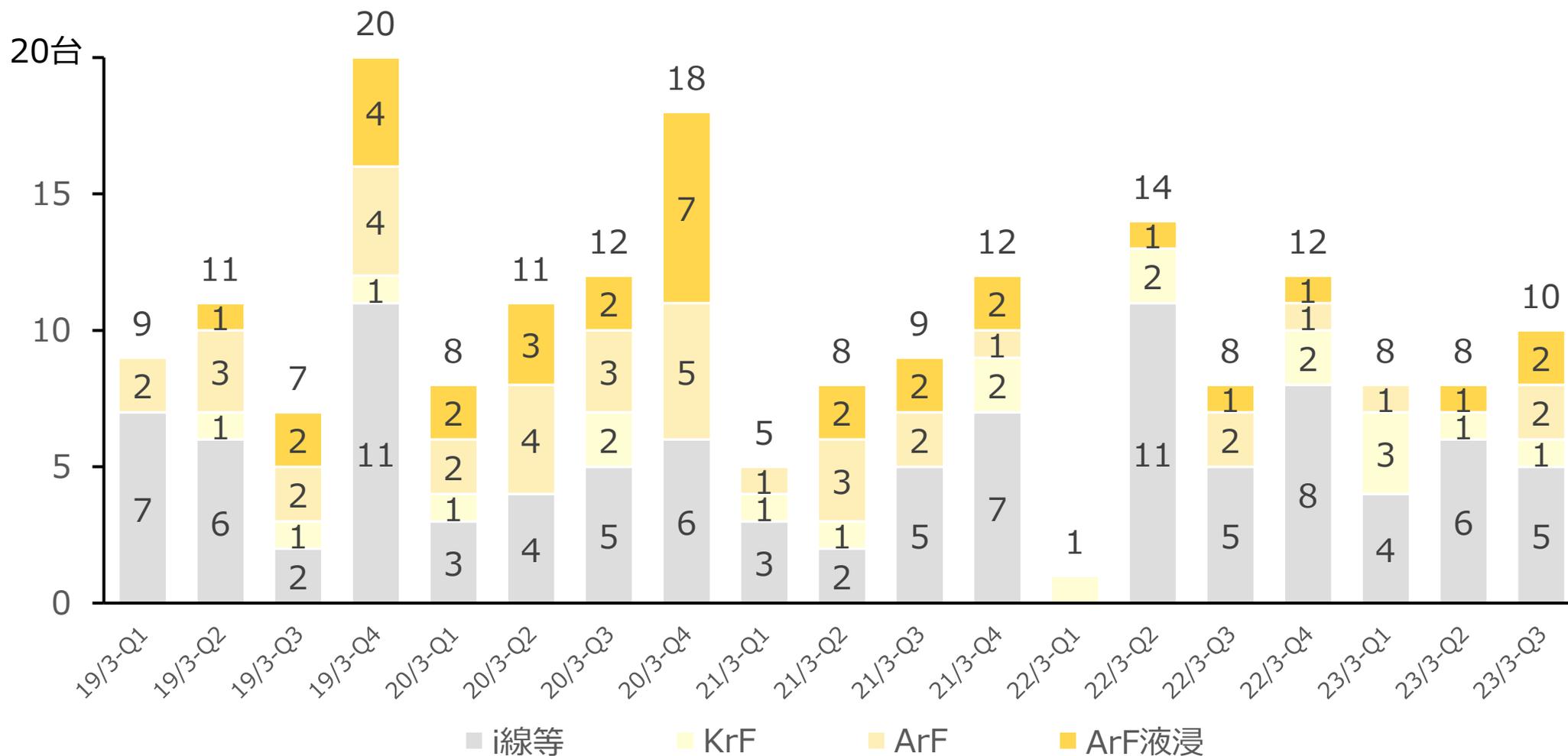


注：半導体露光装置台数の「i線等」には、i線を含む非微細化領域の露光装置（ミニステッパー）を含む（2019年3月期以降についても新しい台数の計上基準で表示）  
 注：半導体露光装置の新品の台数は、2019年3月期は27台、2020年3月期は38台、2021年3月期は23台、2022年3月期は17台、2023年3月期は28台（予定）

## FPD露光装置世代別内訳



## 半導体露光装置光源別内訳 (中古含む)



注：半導体露光装置台数の「i線等」には、i線を含む非微細化領域の露光装置（ミニステッパー）を含む（2019年3月期以降についても新しい台数の計上基準で表示）

# 2023年3月期 通期見通し：為替の影響



	為替レート	1円の変動による影響額	
	23年3月期 Q4前提	売上収益 Q4	営業利益 Q4
USドル	130円	約5億円	約1億円
ユーロ	135円	約2億円	約1億円

注：上記は新興国通貨がUSドル、ユーロに連動することを想定

- 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれます。このため、今後様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく異なる場合があることをご承知おきください

